



YouTube

磐田市公式チャンネル「磐田 TV」



まちの話題

11月12日 第20回ジュピロ磐田メモリアルマラソン スポーツで磐田を元気に！

ジュピロ磐田メモリアルマラソンは今年で20回目を迎え、市内外から1万人を超えるランナーが参加しました。記念となった今大会に、磐田市と友好都市提携50周年を迎えた長野県駒ヶ根市の堀内秀副市長もゲストランナーとして参加し、他の出場者とともに秋の磐田を駆け抜けました。

ジュピロ磐田の選手らも参加して、沿道でハイタッチを交わしたり、一緒に走ったりして、ランナーたちを後押ししました。



①



②



③



④



⑤

- ①ゴール目指してスタートしたランナー
- ②あいさつする堀内駒ヶ根副市長
- ③中村選手、松浦選手によるハイタッチ
- ④沿道からランナーに声援を送る園児たち
- ⑤オートバイの仮装で走り抜きました

11月19日 ふるさとまつり2017&第16回豊岡地区農協祭 地場産品や多彩なイベントを堪能



▲晴れやかな秋空の下で、元気いっぱい「よさこい」を披露しました

豊岡地域の活性化と商工農のさらなる発展を目的として、「ふるさとまつり2017&第16回豊岡地区農協祭」が豊岡総合センターで開催されました。祭りの中で地域の産業の紹介や地場産品の販売などが行われました。またメインステージでは「にここマーチング」や「キッズダンス」「豊岡太鼓」、商工会女性部による「よさこい」などが披露され、来場者を楽しませました。

11月13日 大藤こども園で干し芋作り 季節のおやつを自分で手作り



▲自分で作った干し芋だから、おいしさもひとしおです

大藤こども園の年長・年中の園児たちが、干し芋作りにチャレンジしました。地域に住む干し芋生産者の池端定男さんらに教えてもらいながら、サツマイモの皮をむき、「ペンペン」という器具で平たく切った後、網に干しました。

佐藤謙至さん、中谷梨愛さんは「サツマイモの皮をむいたり、ペンペンでシュッと切ったりするところがおもしろかったです」と感想を話しました。



11月19日 昨年5月にオープンした渚の交流館 来館者30万人達成しました！



▲これからも皆様のご来館をお待ちしています

昨年5月にオープンした渚の交流館の来館者が、11月19日(日)に30万人を達成し、記念式典が行われました。

30万人目の来館者となったのは、浜松市から来たの堀内正和さん家族です。妻の広美さんは「30万人目と聞いて、びっくりしました。景色もいいし、子どもが遊べる場所もあっていい場所ですね」とうれしそうに話しました。

11月13日 東海文化専門学校 防災ポンチョを寄贈 いざという時に役立てて



▲青・赤・緑など6色のデザイン性があるポンチョを作製しました

東海文化専門学校の生徒22人が市役所を訪れ、災害時に活用できる防災ポンチョ 50着を市へ寄贈しました。防災ポンチョは同校の未来デザイン科の3年生がナイロン生地を縫って作製したもので、災害時に避難所などで着替えや簡易トイレ使用時の目隠しとして活用できます。

寄贈された防災ポンチョは各避難所に配布し、訓練などでも使用していく予定です。

11月19日 田原交流センターで「ふれあい広場」 秋空の下、交流と親睦を深めました



▲おそろいの衣装でフラダンスを踊り、来場者の心もほっこり

田原地区内の住民の親睦と交流を目的としたイベント「田原ふれあい広場」が行われました。会場の田原交流センターでは、地元農産物や手作り品の販売のほか、焼き芋や豚汁などが振る舞われました。

ヤギとの触れ合いや消防車の乗車体験、SL模型の試乗などは子どもたちに大人気。センター内では水彩画や切り絵、生け花などの力作が展示されました。会場は一日中、地域住民でにぎわっていました。

11月26日 いわたde音楽フェスタ2017 5年目を迎えた「みんなの音楽祭」



▲スーパートランペッターのエリック・ミヤシロ氏と一緒に演奏しました

いわたde音楽フェスタは、吹奏楽、ジャズ、ロック、ポップス、フォークなどさまざまなジャンルの音楽を演奏する祭典です。市民文化会館では磐田吹奏楽連盟定期演奏会と共同開催し、磐田市や近隣市町から27団体の吹奏楽団が演奏を披露しました。

来場者は演奏に合わせて手拍子したり、演奏後には立ち上がって拍手を送ったりして、出演者と一緒に音楽を楽しみました。